

当会会員の札幌ボデー工業（株）（札幌市）が、
平成31年3月6日(水)付の、日刊工業新聞に紹介されました。

高規格救急車を納入

札幌ボデー 都内小児病院に

【札幌】札幌ボデー工業（札幌市西区、堀田和宏社長、011・662・2511）は、90台目となる高規格救急車「トライハートⅡ写真」を、東京都内の都立の小児病院に15日納入する。同病院はマイクロバスをベースにした救急車を2台

所有する。うち1台を更新するため、トライハートを採用した。トライハートはトラックの車体を基にしたオーダーメイドの救急車。エアサスペンションを採用し、用途に合わせてレイアウト変更できる。トラックベースのためバンより広い空間を確保できる。

通常は4輪駆動（4WD）だが今回は2輪駆動を採用した。小児用のストレッチャーを2台搬送できるなど新生児に

特化した仕様とした。病院間での搬送を目的とする専用車として利用される見込み。堀田和宏社長は「医療の高度化とともにトライハートを進化させていく」と語る。

札幌ボデー工業は、救急車や冷凍車などの特殊車両の架装を手がける。



通常は4輪駆動（4WD）だが今回は2輪駆動を採用した。小児用のストレッチャーを2台搬送できるなど新生児に